



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年1月31日

上場会社名 株式会社 ホウスイ

上場取引所 東

コード番号 1352 URL <http://www.hohsui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 乃美 昭俊

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 石本 哲也

TEL 03-6633-3323

四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	59,285	4.8	555	28.8	444	45.5	144	69.2
30年3月期第3四半期	56,544	0.1	779	9.0	814	8.8	470	11.4

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 204百万円 (62.5%) 30年3月期第3四半期 545百万円 (11.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	17.30	
30年3月期第3四半期	56.24	

(注)平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	39,943	6,509	14.8	706.05
30年3月期	33,471	6,480	17.8	710.73

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 5,912百万円 30年3月期 5,951百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期				20.00	20.00
31年3月期					
31年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,600	0.4	710	15.2	570	35.7	250	41.0	29.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P7「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期3Q	8,379,000 株	30年3月期	8,379,000 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

31年3月期3Q	5,312 株	30年3月期	5,225 株
----------	---------	--------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期3Q	8,373,737 株	30年3月期3Q	8,374,065 株
----------	-------------	----------	-------------

平成29年10月1日付で、普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。期中平均株式につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績予想等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用情勢が改善するなか、緩やかな景気回復基調が続いておりますが、世界経済において通商問題の動向や、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響など、景気の見通しについては依然として予断を許さない状況にあります。

水産・食品業界におきましては、節約志向を背景として個人消費に足踏みが続くなど、厳しい経営環境が続いております。このような状況の下、当社グループは引き続き消費者の食に関する基本的ニーズを的確にとらえて安全・安心な食品を提供し、グループの持つ設備や機能を最大限に活用して収益確保に努めてまいりました。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高592億85百万円（前年同期比27億40百万円増）、営業利益5億55百万円（前年同期比2億24百万円減）となりましたが、川島物流センターの建設資金借入に伴う手数料を営業外費用に計上しましたため、経常利益は4億44百万円（前年同期比3億70百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億44百万円（前年同期比3億26百万円減）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

① 冷蔵倉庫事業セグメント

冷蔵倉庫事業セグメントは、豊洲市場の開設に伴い本年10月に豊洲冷蔵庫が営業を開始しましたが、他社の大型冷蔵庫の稼働に伴う競争激化により、既存冷蔵庫の保管料売上や荷役料売上が減少しました。

その結果、売上高は39億60百万円（前年同期比63百万円減）となり、営業利益は2億36百万円（前年同期比2億17百万円減）となりました。

② 水産食品事業セグメント

水産食材卸売部門においては、売上高は主力のエビ・カニなどの取扱数量の増加やカニの販売単価の上昇により前年を上回りましたが、主要魚種の仕入価格の高騰などにより利益率が低下しましたため、営業利益は前年並みとなりました。

リテールサポート部門においては、主要得意先への取引の拡大に伴い売上高は増加し、新規商材などの取扱いにより営業利益は前年を上回りました。

食品製造販売部門においては、売上高は既存店への販売強化で前年を若干上回りましたが、あん工場の新設などに伴う経費の増加や原材料価格の高騰などにより営業利益は前年を大幅に下回りました。

その結果、売上高は553億24百万円（前年同期比28億3百万円増）となり、営業利益は3億18百万円（前年同期比6百万円減）となりました。

セグメント業績の詳細については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」をご参照ください。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前期末比64億71百万円増加し、399億43百万円となりました。

流動資産は、売上債権の増加等により、前期末比32億54百万円増加の151億92百万円となりました。

固定資産は、冷蔵倉庫事業セグメントの設備投資等により、前期末比32億16百万円増加の247億51百万円となりました。

② 負債の部

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前期末比64億42百万円増加し、334億33百万円となりました。

流動負債は、仕入債務の増加等により前期末比24億76百万円増加し、158億4百万円となりました。

固定負債は、借入金の増加等により前期末比39億65百万円増加し、176億29百万円となりました。

③ 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、株主配当金の支払1億67百万円等があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益が1億44百万円となったことなどにより、前期末比29百万円増加の65億9百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想は、平成30年5月14日に公表しました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,009	1,410
受取手形及び売掛金	6,997	10,532
商品及び製品	1,930	2,240
原材料及び貯蔵品	20	36
関係会社預け金	1,543	654
その他	442	324
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	11,937	15,192
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	24,204	24,571
減価償却累計額	△10,573	△11,238
建物及び構築物(純額)	13,631	13,333
機械装置及び運搬具	4,967	5,199
減価償却累計額	△3,219	△3,475
機械装置及び運搬具(純額)	1,747	1,723
工具、器具及び備品	514	528
減価償却累計額	△361	△388
工具、器具及び備品(純額)	153	140
土地	4,553	4,852
リース資産	797	829
減価償却累計額	△419	△325
リース資産(純額)	378	504
建設仮勘定	15	3,004
有形固定資産合計	20,479	23,558
無形固定資産		
のれん	141	119
その他	223	210
無形固定資産合計	364	330
投資その他の資産		
投資有価証券	393	569
長期貸付金	66	64
繰延税金資産	103	106
破産更生債権等	9	11
その他	155	148
貸倒引当金	△37	△38
投資その他の資産合計	691	862
固定資産合計	21,534	24,751
資産合計	33,471	39,943

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,992	9,341
1年内返済予定の長期借入金	522	377
1年内返済予定の関係会社長期借入金	159	159
短期借入金	3,820	3,900
関係会社短期借入金	100	200
リース債務	132	152
未払法人税等	196	59
賞与引当金	85	27
役員賞与引当金	11	10
本社移転損失引当金	4	—
その他	1,303	1,576
流動負債合計	13,327	15,804
固定負債		
長期借入金	10,952	14,814
関係会社長期借入金	1,562	1,442
リース債務	250	360
退職給付に係る負債	772	811
長期預り保証金	7	6
長期未払金	61	140
繰延税金負債	10	6
資産除去債務	47	47
固定負債合計	13,663	17,629
負債合計	26,991	33,433
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,485	2,485
資本剰余金	1,220	1,220
利益剰余金	2,157	2,134
自己株式	△2	△2
株主資本合計	5,860	5,838
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	90	74
その他の包括利益累計額合計	90	74
非支配株主持分	528	597
純資産合計	6,480	6,509
負債純資産合計	33,471	39,943

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	56,544	59,285
売上原価	52,085	54,939
売上総利益	4,458	4,345
販売費及び一般管理費	3,679	3,789
営業利益	779	555
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	1	2
負ののれん償却額	27	—
賃貸収入	15	16
仕入割引	33	34
雑収入	35	36
営業外収益合計	116	91
営業外費用		
支払利息	77	97
借入手数料	—	100
雑支出	3	4
営業外費用合計	81	202
経常利益	814	444
特別利益		
受取補償金	173	276
受取保険金	—	42
特別利益合計	173	318
特別損失		
固定資産除却損	—	16
移転延期損失	185	319
災害による損失	—	41
特別損失合計	185	376
税金等調整前四半期純利益	802	386
法人税等	273	164
四半期純利益	529	221
非支配株主に帰属する四半期純利益	58	76
親会社株主に帰属する四半期純利益	470	144

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	529	221
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16	△16
その他の包括利益合計	16	△16
四半期包括利益	545	204
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	487	128
非支配株主に係る四半期包括利益	58	76

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算しています。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	冷蔵倉庫事業	水産食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	4,023	52,521	56,544	—	56,544
セグメント間の内部売 上高又は振替高	147	12	159	△159	—
計	4,170	52,533	56,704	△159	56,544
セグメント利益	454	325	779	—	779

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致している。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	冷蔵倉庫事業	水産食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,960	55,324	59,285	—	59,285
セグメント間の内部売 上高又は振替高	143	10	154	△154	—
計	4,104	55,335	59,439	△154	59,285
セグメント利益	236	318	555	—	555

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致している。